

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大阪府	代表者名	吉村 洋文
担当者部署	スマートシティ戦略部	連絡先電話番号	06-6210-9097
担当者役職	総括主査	担当者氏名	西口 晶
住所	559-8555 大阪府大阪市住之江区南港北1-14-16		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	千葉 大右
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	令和5年度情報システム標準化勉強会の開催にあたり、情報システム標準化に係る最新の国の動向などを事前にご説明いただき、知識の向上につながった。また、今後のシステム標準化に関する市町村支援の取組の参考になった。
アドバイザーへの要望事項	今後も、システム標準化を中心に、大阪府・府内市町村に対してアドバイスを頂きたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年12月13日	支援・助言	無	開始時刻	終了時刻
				15時00分	16時00分
				活動時間（分）	60

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	大阪府職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	令和5年9月8日の閣議決定により地方公共団体情報システム標準化基本方針が改定されたが、移行の難易度が極めて高いと考えられるシステムを除いて堅持された令和7年度末という移行期限が迫る一方、人材面・財政面のリソースが限られている中で、システム標準化の対応について多くの団体が苦慮している。大阪府でも府内市町村のシステム標準化の取組が円滑に進むよう支援をしているが、市町村間によって取組状況に差がある。最近も国からシステム標準化に関する様々な資料が示されているが、それらの資料の理解が進んでいない状況が課題である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	移行困難システムを除き、令和7年度末までに府内43市町村が円滑なシステム標準化移行ができることを目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	システム標準化の基本的な内容からガバメントクラウドについてなど国の最新の動きや他県の取組事例などを説明して頂いた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	国の動きや他県の取組事例を把握することで、市町村におけるシステム標準化支援の参考となった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 15日の勉強会の際にアンケートを行うため、事前打合せを兼ねた本日の支援についてはアンケートは行っていません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	移行困難システムを除き、令和7年度末までに府内43市町村が円滑なシステム標準化移行ができること。	

なお、＜その他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

